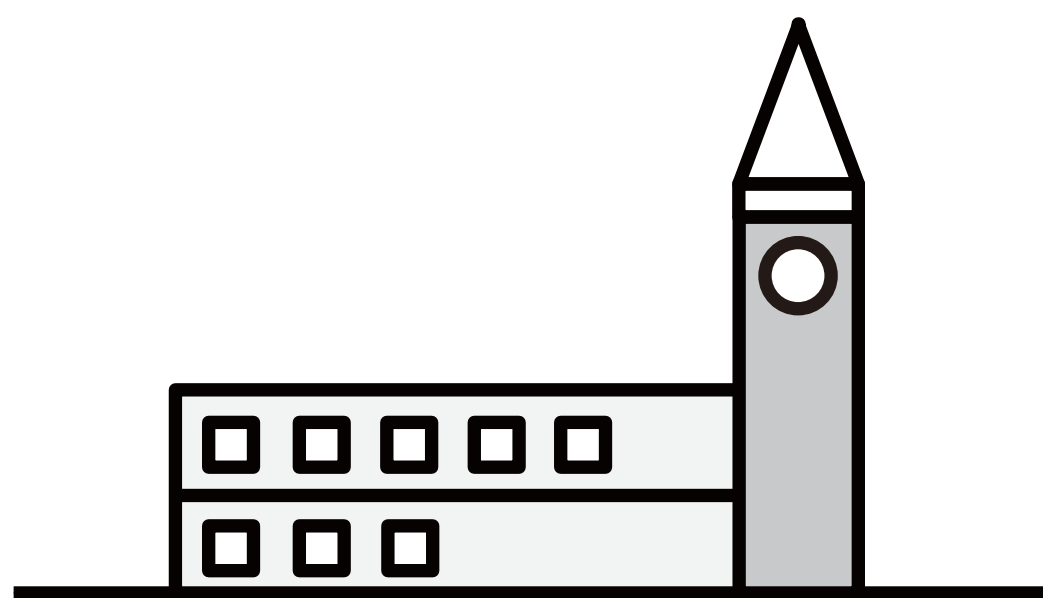
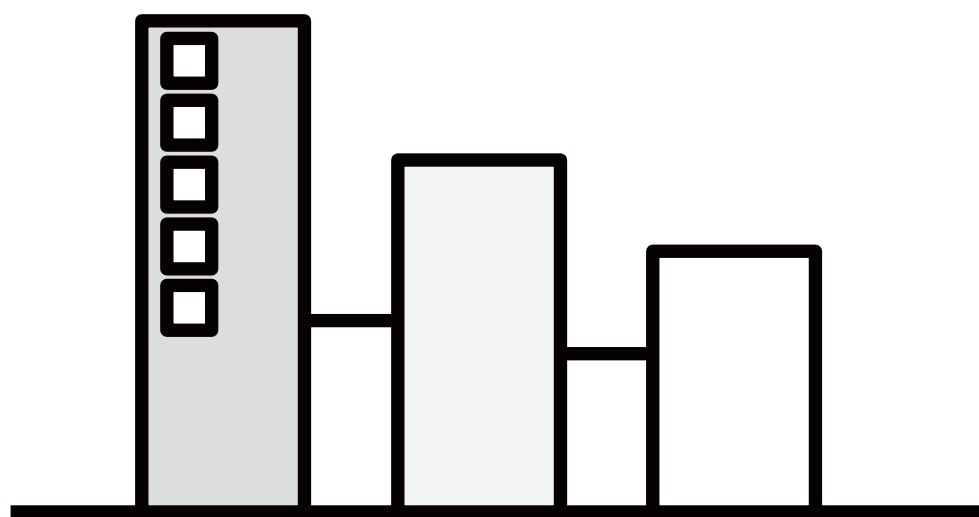
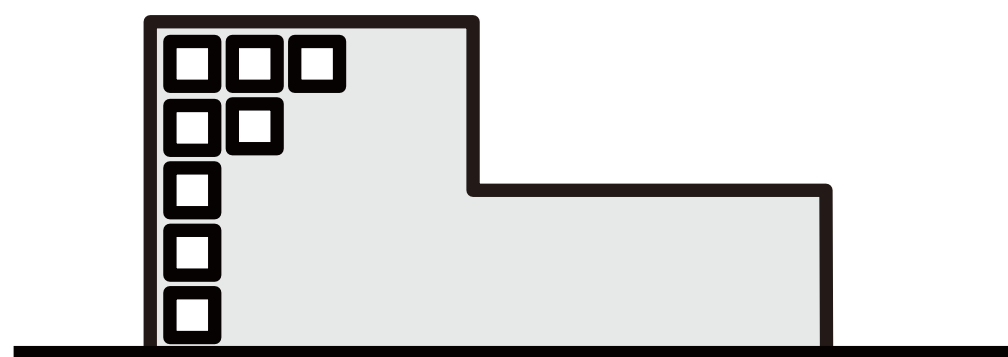
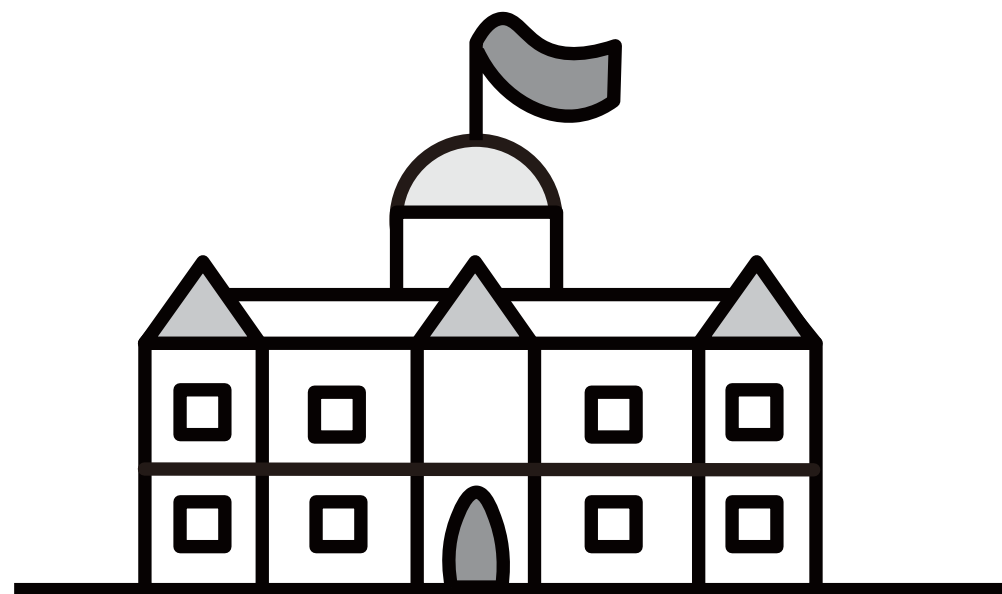


北海道における庁舎建築

その特性とゆくえを考える



日時

平成31年1月25日（金）

17:00～19:10

会場

北海道大学学術交流会館

（1階）・第一会議室

参加費
無料

<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/hall/>

北海道には179の自治体が存在します。多くは小規模な自治体ですが、そこには179の庁舎が存在しています。インフラ長寿命化基本計画や公共施設等総合管理計画の制定などにより公共施設の再編が求められている中、元来建設補助金のない庁舎建築の建替も、他の公共施設に遅れて着手されるようになってきました。しかし、庁舎建築の実現に向けては課題も多いのも事実です。建築のコンパクト化、省エネ化の要求、市民らへの解放空間や交流機能の設置、防災機能の要請、果ては自治体のシンボル性まで要求されます。また、平成29年度創設の市町村役場機能緊急保全事業活用といった事業の場合は、4年間といったタイトなスケジュールリングまで要求されるなど、その実現には他の施設にない特性が存在するはずです。ここでは庁舎建築の発注者・設計者らをお招きし、実際に関わった実例を対象にしながら、学際的に庁舎建築を考える場を設けます。本研究会を通じて、北海道における庁舎の特性を把握し、また今後の庁舎建築のあり方を考えるきっかけとなることを望みます。

プログラム

17:00 趣旨説明 真境名達哉（室蘭工業大学／AIJ道支部建築計画専門委員会主査）
17:05 話題提供（55分）

① 「北海道内の庁舎建築の動向」

中嶋 輝（株式会社ドーコン）

（20分）

② 「「協働」の視点からみた庁舎建築の研究報告」

真境名 達哉

（15分）

③ 「発注者からみた庁舎建築」

中館 佳嗣（士別市総務部長）

（20分）

休憩（10分）

18:10 質疑・討論（50分）

パネリスト／中嶋 輝，中館 佳嗣，真境名 達哉，丸田 絢子（株式会社丸田絢子建築設計事務所）
モデレーター／森 傑（北海道大学）

19:00 まとめ 谷口 尚弘（北海道科学大学）
19:10 終了

司会／石橋 達勇（北海学園大学）